
赤貧

そのたろ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

赤貧

【ZPDF】

Z9527K

【作者名】

そのたろ

【あらすじ】

とある少年の話。ショートショート

おれ生まれ変わつたらねずみになるんだ。

昨日死んだ他人の捨て台詞がそれだった。おれは泣いた。他人の死に顔が情けなくて泣いた。まるでひょっとこのお面のような、唇を尖らせた間抜け面で、他人は死んだのだ。おれは他人の死を悲しまなかつた。もし他人がおれの友達だったらおれは泣いたかも知れない。そういうことだつた。

おれはごみ捨て場のような路地裏で育つた。両親はべらぼうに頭が悪かつた。だからおれを産んでせつせと育てた。おれは辟易していた。臭いじじいの隣で金をせびるのにも飽きていた。

そんなるある日、友達は言つた。おれ生まれ変わつたらねずみになるんだ。

翌日、友達は死んだ。

だけどおれは泣かなかつた。友達と言えど、やつが他人だということに気がついていたからだつた。路地裏に捨てられていたプラスチックの花を死体の胸元に置いて黙祷し、おれは泣いた。

おれは泣いた！

他人の死に悲しみを垂れ流したのではなく、ねずみがうまそうに死体をかじつていたから、おれは泣いたのだった。やつらがかじる部位からは血が流れている。おれは声をあげて泣いた。ねずみはちゅうと鳴いた。おれはねずみになりたいと思った。人の作り上げたすべてを気にせず、本能のままに何でも腹いっぱい食べて生きてみたかつたからだつた。

おわり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9527k/>

赤貧

2010年12月12日17時14分発行